



Member

Piccolo

Sato Yukari : 佐藤由加里

Flute

Sato Tsukasa : 佐藤 司

Uotani Yoko : 魚谷 陽子

Nobesawa Yoko : 延澤 優子

Oboe

Sakamoto Makiko : 坂本真貴子

Uejima Yoko : 上嶋 悠子

E♭ Clarinet

Nagao Kyoko : 長尾 恭子

B♭ Clarinet

Hatazawa Atsuko : 畑澤 淳子

Matsumoto Yuki : 初岡 ゆき

Ishida Keiko : 石田 契子

Ohe Nana : 大江 奈々

Nishida Sachiko : 西田 幸子

Sasaki Hiroyuki : 佐々木博幸

\*Nobesawa Etsuko : 延澤 悦子

\*Kanou Munehiro : 加納 宗博

Alto Clarinet

Onishi Harumi : 大西 晴己

Bass Clarinet

Sato Hiroshi : 佐藤 浩史

Bassoon

Takahashi Shiho : 高橋 志穂

Kayahara Mikako : 萱原美華子

Alto Saxophone

Ogawa Yoko : 小川 陽子

\*Yoshimura Hitoshi : 吉村 仁志

Tenor Saxophone

Hatsuoka Kazuki : 初岡 和樹

Baritone Saxophone

Okuda Hiroshi : 奥田ひろみ

Horn

小川 貴子 : Ogawa Takako

日置 澄人 : Hioki Sumihito

佐伯 直人 : Saeki Naoto

久野 耕三 : Kuno Kozo

Trumpet

大西 伸幸 : Onishi Nobuyuki

国元 昌広 : Kunimoto Masahiro

表 恭子 : Omote Kyoko

吉川 茂宏 : Yoshikawa Shigehiro

篠木 章江 : Shinoki Akie

Trombone

田口 秀雄 : Taguchi Hideo

小島 正浩 : Kojima Masahiro

萱原 淳嘉 : Kayahara Atsuyoshi

西村 真理 : Nishimura Mari\*

Euphonium

大西 善郎 : Onishi Yoshio

中村 雅美 : Nakamura Masami

Bass

吉村 大介 : Yoshimura Daisuke

岩城 茂夫 : Iwaki Shigeo

Percussion

河津 雅之 : Kawatsu Masayuki

平井 晶 : Hirai Aki

下村 智子 : Shimomura Tomoko

前河内芳昭 : Maekawauchi Yoshiaki

板垣 麻子 : Itagaki Asako

小椋由希子 : Ogura Yukiko

Contrabass

井村 誠貴 : Imura Masaki\*

Piano

松本 清香 : Matsumoto Kiyoka\*

Stage Manager

河村 穰香 : Kawamura Yutaka

Conductor

魚谷 昌克 : Uotani Masakatsu

佐藤 司 : Sato Tsukasa



# 2001年 春の演奏会

\* = エキストラ



Member



指揮：佐藤 司  
ジェイムズ・バーンス  
**アルヴァマー序曲**

ヤン・ヴァン・デル・ロースト  
**カンタベリー・コラール**

ロバート・W・スミス  
**船乗りと海の歌**

<休憩>

指揮：魚谷昌克  
ロン・ネルソン  
**宮廷風アリアと舞曲**

- 1) イントラーダ
- 2) パス・ダンス
- 3) バヴァーヌ
- 4) サルタレロ
- 5) サラバンド
- 6) アルマンド

大栗 裕

**吹奏楽のための神話～天の岩屋戸の物語による**

Conductor : Sato Tsukasa  
James Barnes

**ALVAMAR OVERTURE**

Jan Van Der Roost

**CANTERBURY CHORALE**

Robert W. Smith

**SONGS OF SAILOR AND SEA**

<Intermission>

Conductor : Uotani Masakatsu  
Ron Nelson

**COURTLY AIRS AND DANCES**

- 1) Intrada
- 2) Basse Dance
- 3) Pavane
- 4) Saltarello
- 5) Sarabande
- 6) Allemande

Ohguri Hiroshi

**A MYTH FOR SYMPHONIC BAND**



**ご挨拶**

団長 魚谷 昌克  
本日は“A-Winds 5 春の演奏会”にお越しいただき誠にありがとうございます。音楽を通じて皆様方とこうしてお逢いする機会を持つことが出来たことに、*A-Winds* 一同、心より感謝しております。

県内にはアマチュア吹奏楽団体が数多くあり、個々の活動は中学や高校をも凌ぐほど非常に熱心で盛んであります。そのような文化に恵まれた環境に生まれ、我々 *A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラは、1999年10月に新しいアマチュア吹奏楽団として誕生しました。発足と同時に活動を始めて以来、これまで1999年12月の“デビュー演奏会”を初め2000年3月の“A-Winds 2 春の演奏会”2000年7月の“A-Winds 3 夏の演奏会”2000年11月の“A-Winds 4 秋の演奏会”とおかげ様をもちまして、演奏会4回を開催し、団員も49名に成長することが出来ました。これも皆様方のご指導、ご支援あってのことと厚く御礼申し上げます。

我々団の正式名称は“*A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ”です。この“アマチュア”という表現がとても気に入っています。がむしやらにひたむきに、自分を信じ、そして仲間を信じ、何事にも臆せずただひたすらチャレンジし続けることが、とても自分にあつてるとし、それにこれはアマチュアだから出来ることだと思っております。

また既にご存知の方もおられるかと思いますが、*A-Winds* は最小人数の吹奏楽=“ウインドアンサンブル”を指向しております。演奏面は勿論のこと、運営面も含む活動全般において、団員一人ひとりが常に「主人公」であり、自分の代役は自分しかできないという意識を持ち“責任”を感じ、“やりがい”に酔いしれて未来への熱き想いのもと新しいいきいきとした吹奏楽団を目指し日々活動に取り組んでおります。

これから団員一同、更に心をついに、リラックスして且つ真剣に音楽活動に取り組んでいく想いに胸を膨らませながら、団員を代表しまして、今の心境を一句詠ませていただきます。

アマチュアは 一途な心の 成せる技

今後とも暖かいご指導、ご支援の程、宜しく願いいたします。

演奏会実行委員長 河津 雅之

春です。今年もまた新しい出会いの季節がやって来ました。私が吹奏楽と出会ったのもこの季節でした。中学校の入学式で先輩方が演奏していた入場行進曲は、初めて耳にする輝かしいサウンドに驚き、そして「自分も楽器をやりたい」と強く思ったものでした。

21世紀を迎え最初の演奏会は、「吹奏楽、思い出の1曲」をテーマに、私達が吹奏楽に出会った頃の思い出が一杯詰まった曲を取り上げてみました。日が暮れるのも忘れて夢中で練習していた日々、憧れの先輩が吹いていたあの曲、初めて楽譜を渡され、まるで宝物のように思えたあの曲……。

さて私達 *A-Winds* は、上は40代から下は10代という幅広い年齢層で活動しています。当然のことながら、各世代によって思い出の曲は異なります。例えば1曲目にお送りします『アルヴァマー序曲』ですが、80年代前半に学生時代を過ごした者にとってこの曲は、避けて通ることが出来ないといわれたくらいスタンダードなレパートリーでして、「この曲を吹くのは10数年ぶりや！」と言う声があれば、また一方、若いメンバーからは「こんな曲があったんだ！」と言う声もあります。

各世代によって異なる曲に対する思い入れが、*A-Winds* という器の中で混じり合ったとき、いったいどのような演奏になるのか?。そこが本日の聴きどころでしょうか。

それではごゆっくりとお楽しみください。

**プロフィール**

*A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ

*A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラは1999年10月、古都奈良に誕生した新しいアマチュア吹奏楽団です。「*A-Winds* (エー・ウィンズ)」の“A”は「アマチュア(Amateur)」の“A”であり、アマチュアならではの音楽づくりを追求することを標榜しています。演奏者一人ひとりの音楽づくりを演奏に反映できる、管打楽器アンサンブルの延長上としての最小人数の吹奏楽=ウインドアンサンブルを指向し、また、吹奏楽の特性を最大限に発揮できる吹奏楽オリジナル曲を中心に取り上げていくことを活動方針としています。



アルヴァマー序曲(1981)／ジェイムズ・バーンス(1949-)

作曲者のジェイムズ・バーンスが住むローレンス市は、アメリカ合衆国カンザス州の北東部に位置する、カンザス大学を中心とした学園都市です。タイトルの“アルヴァマー”は、彼の家の近くにあるアルヴァさんとマリ一さんの経営するゴルフ場の名前からとられたものです。

カンタベリー・コラール(1991)／ヤン・ヴァン・デル・ロースト(1956-)

イングランドの南東部に位置する伝統と歴史のある街カンタベリーは、周囲を城壁で囲まれた城郭都市で、街の中心部には英国国教会の権威を持つカンタベリー大聖堂があります。まっすぐのびた柱に支えられた高い天井の身廊は壮観であり、またステンドグラスから射し込む太陽光の色彩は美しく、“イギリスで最も天国に近い場所”ともいわれています。

船乗りと海の歌(1996)／ロバート・W・スミス(1958-)

～海。全ての生命の源である母なる海。神秘の海。希望の海。人はそこに富と名譽、そしてロマンを求め、旅立つ。～

この曲は、そのような海に魅せられ、海とともに生きる船乗りたちをたたえた曲で、「水夫のはやし歌」「くじらの歌」「快速帆船のレース」の3つの部分で出ています。

冒頭のメロディは、実際に水夫が錨を揚げるときに歌うはやし歌からとられています。

宮廷風アリアと舞曲(1995)／ロン・ネルソン(1929-)

ルネサンス期にヨーロッパの5つの国それぞれで流行した舞曲を表現した組曲で、行進曲風のファンファーレ「イントラーダ」と、「パス・ダンス(フランス)」「バヴァーヌ(イギリス)」「サルタレロ(イタリア)」「サラバンド(スペイン)」「アルマンド(ドイツ)」の5つの舞曲で出ています。

このうち「パス・ダンス」「バヴァーヌ」「アルマンド」の3曲は、当時のフランスの作曲家クロード・シルヴェースの作風を取り入れています。

吹奏楽のための神話～天の岩屋戸の物語による(1973)／大栗 裕(1918-1982)

現存するわが国の歴史書の中で最も古いものとされている古事記は、奈良時代初期に編纂され、上中下の全3巻から成り立っています。この曲のモチーフとなっている“天の岩戸伝説”はその中の上巻に記されています。

『天照大神(あまてらすおおみかみ)が、須佐之男命(すさのおのみこと)の悪業に怒り天の岩屋戸の中に姿を隠してしまったため、世界は暗闇となりました。そのため神々は、天の安の河の河原に集まり、まずは思金神(おもいかねのかみ)の発案で長鳴鳥を集めて鳴かせました。そして天宇受売命(あめのうすめのみこと)が裸で踊り出すと、神々はどうとばかり立て、その狂態に爆笑の渦が巻き起こりました。その笑い声を聞いた天照大神は不審に思い、岩戸をわずかに開けたところを、隠れて立っていた天手力男神(たぢからのかみ)が力いっぱい戸を開き、天照大神を岩屋戸の中より引き出しました。こうして世界は再び明るくなったのです。』

